

米

米（全袋検査を含む）の検査結果の推移

検査期間	検査点数 ¹	基準値 超過点数	超過割合
～2011年産	26,464	592	2.2%
2012年産	約1,037万	84	0.0008%
2013年産	約1,104万	28	0.0003%
2014年産	約1,102万	2	0.00002%
§	§	0	0%
2024年産（9月30日時点）	19,773	0	0%

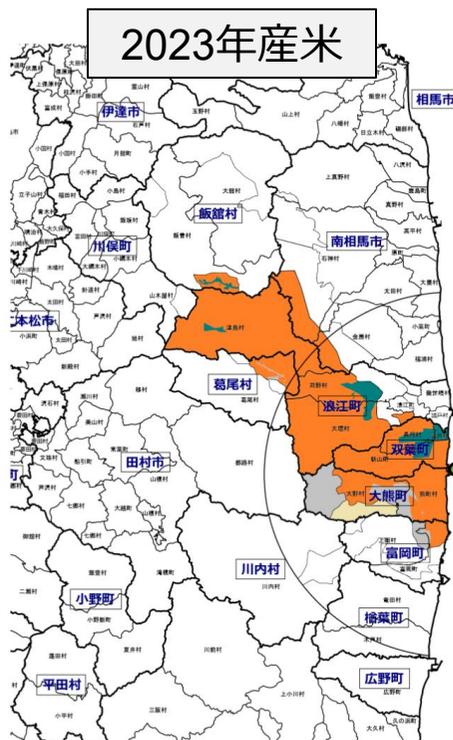
1：2020年産米から、全袋検査からモニタリング（抽出）検査に段階的に移行し、検査点数が減少

※集計対象：食品中の放射性物質に関する「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」において、
検査対象自治体となっている17都県

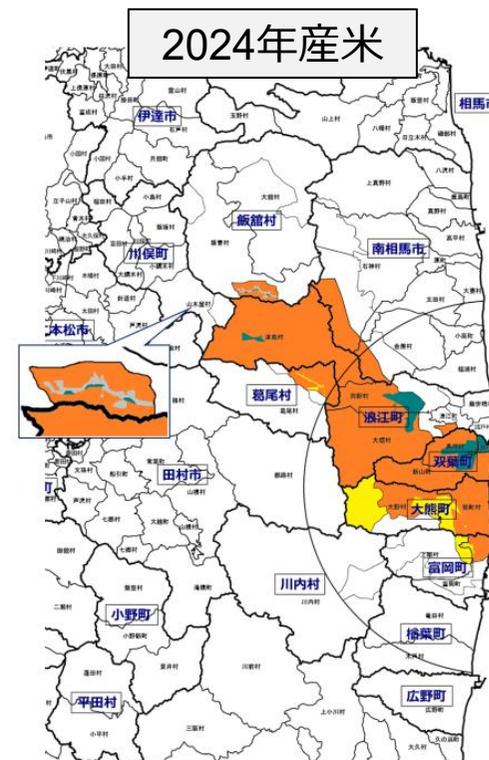
農産物に含まれる放射性セシウム濃度の検査結果（農林水産省）、放射性物質検査情報（ふくしまの恵み安全対策協議会）より作成

米

2024年産米の作付制限等の対象区域



- 作付制限**
作付・営農は不可。
- 農地保全・試験栽培**
除染後農地の保安全管理や市町村の管理の下で試験栽培を実施。
- 作付再開準備**
管理計画を策定し、作付再開に向けた実証栽培等を実施。
- 全量生産出荷管理**
管理計画を策定し、全てのほ場で吸収抑制対策を実施、もれなく検査（全量管理・全袋検査）し、順次出荷。
- 全戸生産出荷管理**
農家単位で吸収抑制対策を徹底した上で検査（全袋検査）し、順次出荷。
- 福島第一原子力発電所**



区域	2024年産米	2023年産米
作付制限	1,500ha	1,500ha
農地保全・試験栽培	400ha	550ha
作付再開準備	50ha	300ha
全量生産出荷管理	300ha	0ha
計	2,250ha	2,350ha

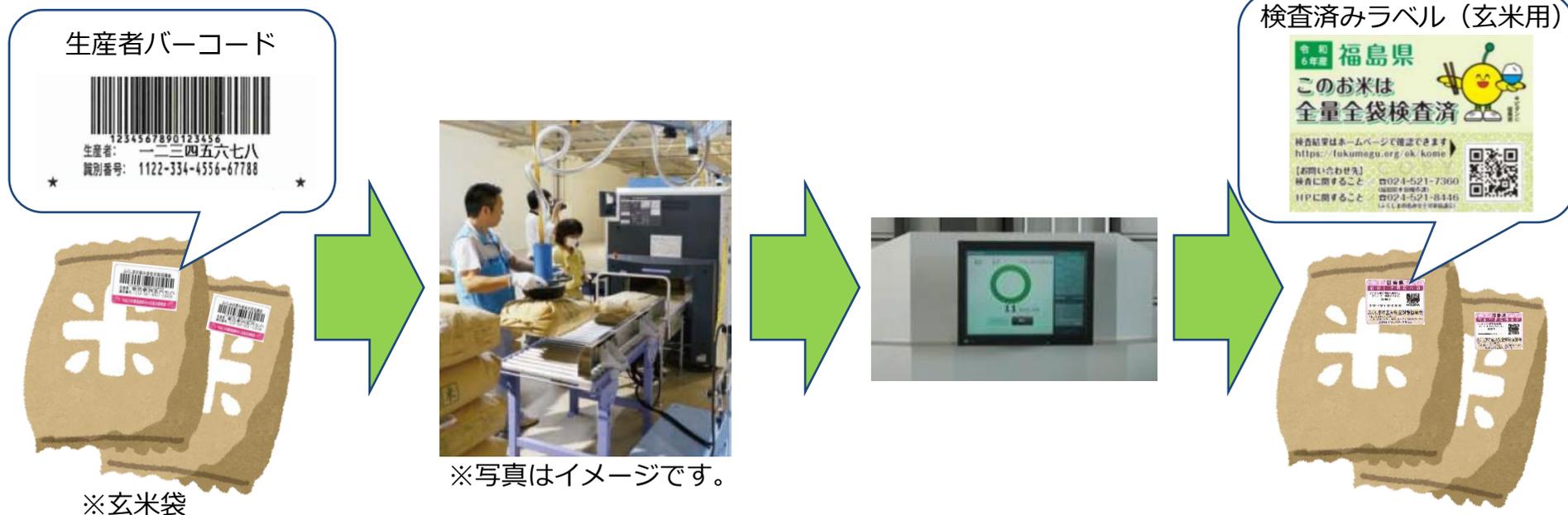
※合計値はラウンドの関係で合わない場合がある。

農林水産省「令和6年産米の作付制限等の対象地域」及び福島県「令和6年産米の作付に関する情報」より作成

米

福島県における米の全袋検査

福島県では、検査ガイドラインに基づく検査とは別に、2012年産米から県内全域で全袋検査を実施。なお、2020年産米から、全袋検査から段階的にモニタリング（抽出）検査に移行。2023年産米からは田村市、2024年産米からは楡葉町が移行。



※玄米袋

全ての米袋に
生産者バーコードを
貼り、検査場に
持ち込む

ベルトコンベア式検査器で
バーコードを読み取り、
放射性物質を検査

放射性物質が基準
値以下のみ合格

合格した玄米に検査済
ラベルを貼る

※福島県のホームページ等に基づき作成。

QRコードで検査結果を確認可能
「ふくしまの恵み安全対策協議会」
[https://fukumegu.org/ok/contents
V2/kome_summary_2.html](https://fukumegu.org/ok/contents/V2/kome_summary_2.html)